

マスター構築編

- 1－1 マスター構築の流れ
- 1－2 自社仕様設定、明細エクセル準備
- 1－3 建具エクセル準備
- 1－4 カンタン見積計画での取り込み準備
- 1－5 カンタン見積計画へ取り込み
- 1－6 引当式設定、テンプレート・グレード登録
- 1－7 外部建具の設定
- 1－8 内部建具の設定
- 1－9 グレード、テンプレート、計算式の検証

『カンタン見積計画』にはあらかじめ《新築》モード・《リフォーム》モードそれぞれにサンプルのマスターを準備しています。これまではサンプルを元に見積内容を変更してオリジナルのマスターを作成していく手順を説明してきました。

ここでは、《新築》モードを例に、サンプルマスターを使用せず、自社の明細を使用するなど1からマスターを作成する手順をご説明します。

マスター構築の流れは、大きく5つのステップに分けられます。

※以下、「明細 - 編集テンプレート.xls」= 明細エクセル、「建具マトリクス設定用.xls」= 建具エクセルとします。

**STEP
1****自社仕様設定・明細エクセル・建具エクセル準備**

- ・ 工事ごとに明細、仕様、原価、単価、見積根拠を明細エクセルに入力
- ・ 建具エクセルの作成

**STEP
2****カンタン見積計画での取り込み準備**

- ・ カンタン見積計画で工事名、業種名、単位名を設定

**STEP
3****各エクセルをカンタン見積計画へ取り込み**

- ・ 設定した各エクセルをカンタン見積計画へ取り込み

**STEP
4****引き当て式設定・グレード・テンプレート登録**

- ・ 引き当て設定、建物グレード、工事テンプレートを構築

**STEP
5****グレード・テンプレート・計算式の検証**

- ・ ウォークインホーム・プラスとの連動検証
- ・ 誤差の修正